日本オリエント学会
創立三十五周年記念

オリエント学論集

刀水書房

「アタテュルク国際平和賞」を手にされる三笠宮殿下及び賞状
三笠宮崇仁親王殿下の「アタテュルク国際平和賞」御受賞をお慶び申し上げる ……護雅夫 I
刊行の辞 ……江上波夫 XI
三十五年の歩み ……中岡三益 XV
日本の古代オリエント研究の曙 ……板倉勝正 XXI
例言 ……XXXVI

『断疑論』の異教批判 ……伊藤義教 3
聖なる盃 ……井本英一 19
古代西アジア・エジプトに於ける河馬像に関する考察 ……石黒孝次郎 37
ミトラス教における軍事的要素 ……小川英雄 55
カリアの文字と言語 ……大城光正 73

イスラーム神秘思想における時間
——モッラー・サドラーとシャムスッディーン・ダイラミー—— ……鎌田繁 93
一三世紀リーフ地方のスーフィー・聖者社会と
リバート、ラービタ及びザーウィヤ ……私市正年 111
ナレーンドラヤシャスと破佛 ……桑山正進 133
エナンナトゥム一世の銘文が刻まれた釘人形に関する一考察 ……小林登志子 153
カーラ
——アケメネス朝帝国におけるペルシア「人民＝軍」—— ……佐藤進 179
古代南アラビア碑文に現れるアビシニア人（二） ……部勇造 193
アラブ帝国時代のマワーリー ……嶋田襄平 215
四代目イマーム・ザイヌルアーベディーンとイラン
——サファヴィー朝期以降のペルシア語資料を中心にして—— ……嶋本隆光 235
J・ストルツィゴウスキー著『アルタイ＝イランと民族移動』の今日的意味 ……杉山二郎 255
一八世紀初頭オスマン朝の一官人の経歴について
——パリ派遣大使イルミセキズ・チェレビィ・メフメット・エフェンディの場合—— ……鈴木董 273

ガンダーラ美術に対するササン朝文化の影響……田辺勝美 295
楼蘭出土の初期切子ガラス盃……谷一尚 315
エマルの神々……月本昭男 335
加藤房蔵と吉村源太郎の植民地統治論……中岡三益 361
古バビロニア時代マリの家畜支出記録に見られる
マリの公的パンテオンについて……中田一郎 379
オスマン朝法制史料のコンピュータ分析のための予備的考察……永田雄三 397
サーデク・〈ダーヤト Ṣādeq Hedāyat (1903~51) の
イラン文化認識をめぐって……藤井守男 415
ウル第三王朝時代のプズリシュ・ダガンにおける家畜管理組織……前田徹 435
古代メソポタミアの神像について……松島英子 453
〈シェバの女王〉物語についての若干の考察……矢島文夫 467
イブン・アル=ファッラーとイブン・タイミーヤ
——中世イスラームの政治思想の展開——……湯川武 483
Tummal と Ki-ᵈSin……吉川守 503
「雄弁な農夫の物語」に見る古代エジプトの診……吉成薫 521

Summary……vii
Contents……iii